

中日新聞

Report

新NISAスタート
中部エリアの「投資意欲」を調査

中日新聞東京本社メディアビジネス局

2024年 2月 29日

新NISAスタート 中部エリアの「投資意欲」を調査

「新NISAに興味がある」は7割、年代別で金融機関の選定理由に差

2024年1月に開始した新NISAの
中部エリアにおける認知度や利用率、投資への関心を探るべく、
中日プラス会員にアンケート調査を実施しました。

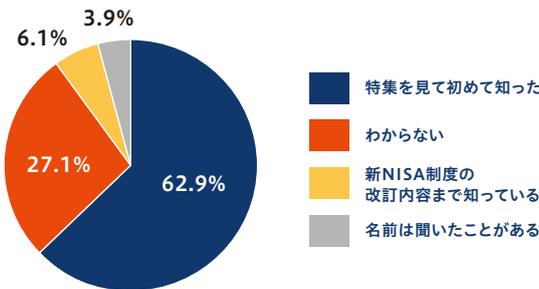
調査結果概要

新NISAの認知度は90%と高いが、NISA口座保有率は41.4%に留まる。口座を持たない人の74.6%が新NISAに興味を持っており、新口座開設の需要は高いと言える。NISAを始めていない理由としては投資への知識不足からなる不安感が強い。金融機関の選定理由として、若年層はオンライン申込での利便性や取引手数料の安さを重視した結果ネット証券を選ぶ傾向にある。一方で年代が上がるにつれて直接相談できる安心感から、店舗のある証券会社や地元金融機関を選ぶ傾向にある。本調査の回答数は5,528人。

新NISAの認知度は90.0%。改訂内容まで知っているのは27.1%に止まる。

『あなたは、「新NISA」をご存じでしたか?』という問いに対し、「制度改定内容まで知っている」「名前は聞いたことがある」の回答者は合わせると90.0%。認知度はかなり高いといえる。

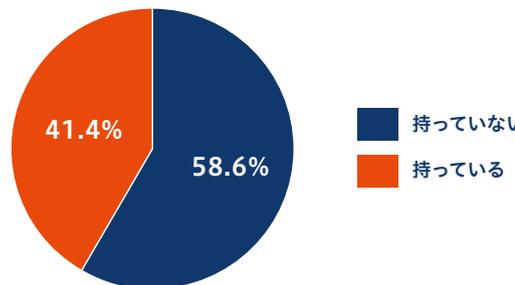
Q.あなたは、「新NISA」をご存じでしたか?



NISA口座保有率は41.4%。年代が上がるにつれて増加傾向。

『NISA口座をお持ちですか?』という問いに対し、持っていると答えたのは4割強。6割弱がまだ口座を保有していない。年代別では概ね年代が上がるにつれて増える傾向。

Q.NISA口座をお持ちですか?



■NISA口座を持たない人のうち、74.6%が興味を持っている。性別・年代を問わず関心が高いことがわかる。

『NISA口座をお持ちでない方に質問です。新NISAに興味はありますか?』という問いに対し、74.6%が興味があると回答。性別・年代を問わず興味があることがわかる。性別で差異は見られず。年齢別で見ると、若い世代のほうが高くなる傾向。20代(81.5%)と30代(79.8%)は約8割と関心が高い。

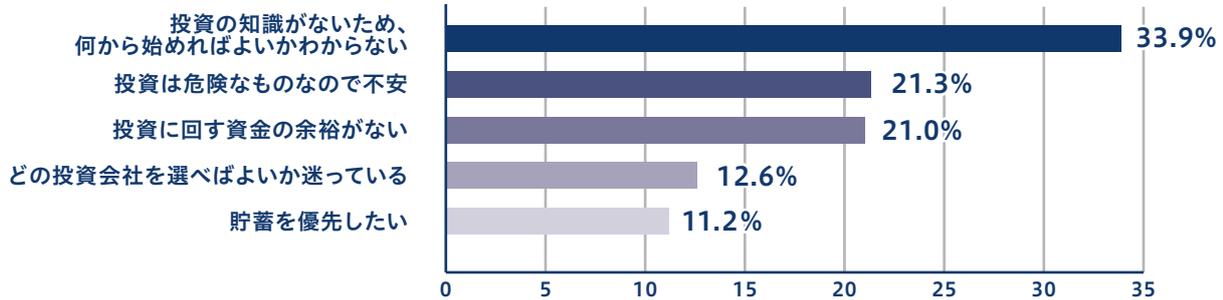
NISAを始めていない要因 (NISA口座を持たない人) は、投資の知識がない、投資は危険で不安、など知識不足を含めた不安感が大きい。

『NISA口座をお持ちでない方に質問です。NISAを始めて

いない要因は何ですか？(複数選択)』という問いに対し、各年代ともに「投資の知識がないため、何から始めればよいかわからない」との回答が最も多く、男性よりも女性のほうがその傾向が強い。60代・70代では「投資は危険なものなので不安」という回答が多い。

Q.NISA 口座をお持ちでない方に質問です。

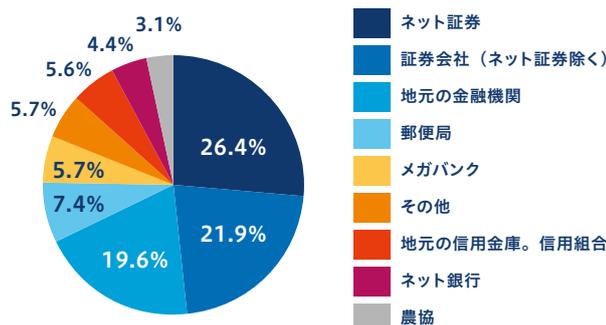
NISA を始めていない要因は何ですか？ (複数選択)



NISA口座開設に選びたい(もしくは選んだ)金融機関は、ネット証券が26.4%でトップ。若年層はネット証券、高齢層は店舗を持つ証券会社を選びやすい。

『新NISAを始める場合、どの金融機関で口座を開設しようと思いますか？すでにNISA口座をお持ちの方はどの金融機関で開設されましたか？』という問いに対し、ネット証券が26.4%でトップ。ネット証券を選んだのは30代が最も多く、年代が上がるにつれて比率が下がる。その一方で、年代が上がるにつれ、店舗を持つ証券会社(ネット証券除く)の比率が上がる。

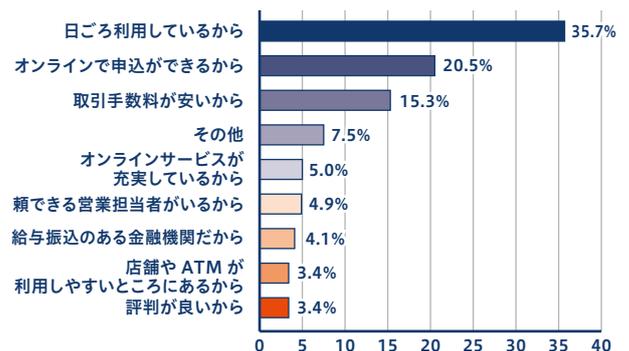
Q. 新 NISA を始める場合、どの金融機関で口座を開設しようと思いますか？
すでに NISA 口座をお持ちの方はどの金融機関で開設されましたか？



金融機関を選ぶ理由、若い世代はオンライン申込の利便性。40代以上は年代が上がるにつれ「日ごろ利用しているから」が大きく数値を伸ばす傾向に。

『なぜその金融機関を選んだのか理由を教えてください(複数選択)』という問いに対し、全体では「日ごろ利用しているから」が4割弱で他を引き離しているように見えるが、年代別で結果が大きく異なっている。若い世代ほど「オンライン申込ができる」「取引手数料が安い」といったオンライン申込の利便性に最も高い数値を出した。一方で40代以上は年代が上がるにつれて「日ごろ利用しているから」が大きく数値を伸ばす。60代は4割強、70代以上では5割弱と、半数に迫る勢い。

Q. なぜその金融機関を選んだのか理由を教えてください (複数選択)



金融機関を選ぶ理由。信頼・安心・相談などのワードが目立つ。

『新NISA利用金融機関の選定の際に求めることが他にもあれば教えてください(自由回答)』という問

いに対し、手数料の安さ、信頼、安心、親切、相談などのワードが目立ちました。

▼調査概要

調査方法 : 中日プラス WEBアンケートを使用
調査期間 : 2023年12月25日～2024年1月25日
回答者 : 5,528人
回答者の年齢 : 11歳～99歳
回答者の居住地: 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・滋賀県・長野県・福井県・石川県・富山県

▼中日プラスとは？

概要 : 中日新聞購読者とその家族向けのWEBサービス
会員数 : 約44万人
男女比 : 男性57%、女性43%
居住地 : 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・滋賀県・長野県・福井県・石川県・富山県(中日新聞の発行エリア)

本調査データの詳細をご覧になりたい方や、二次利用をご希望の方は
中日新聞広告局の担当営業、または下記までご連絡ください。

本資料に関するお問い合わせ

中日新聞東京本社メディアビジネス局デジタルビジネス部
電話 03-6910-2483
メール ad.tokyo@ml.chunichi.co.jp